

台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2014年5月5日号 東京発行 NO.205

発行元: 有限会社台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 TEL: 03-5917-0045 FAX: 03-5917-0686 http://www.taiwannews.jp E-mail: info@taiwannews.jp
■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価350円(税込) 定期購読12回: 3,500円(税込) / 24回: 7,000円(税込) ©郵便振替: 00140-4-594168

続けて読むから「台湾」が解る
お得で便利!! 毎月第1日曜日にお届け!
年間定期購読
送料無料でお届け!
1年契約で700円お徳!
※12回発行で購読料3,500円(1部350円×12=4,200円)
～お申込みはかんたんです(住所・電話番号・お名前・契約月)～
お申込み窓口 (TEL03-5917-0045 FAX03-5917-0686) まで
メールでも受付中! (info@taiwannews.jp)

訪日観光客急増で観光バスの事業規制が緩和



東京スカイツリー、バス駐車場にて

台湾人観光客の急増を受けて日台双方の旅客業者はこのほど、観光客の安全と円滑な交通インフラの整備の実現に着手した。現在困窮している貸切りバスの供給輸送力増強と手配の円滑化を図るため、国交省に対し要望書を提出するなど、事態終息に向けた活動を本格化させている。

日台の交流窓口の両国関係協会は、日本側の受け皿として機能する日本交流協会を通じて、国交省に配慮と対応に向けて要請書を提出した。台湾訪日旅行者の受け入れ地域の貸切りバスの供給輸送力の増強と手配の円滑化を図る事を目的としている。この要望に対し国交省は4月17日付で日本バス協会を通じて貸切りバス業者の規制緩和を通達した。これは訪日観光客の安全性の確保

を第一としているため、バス協が制度化する「貸切りバス事業安全性評価認定制度」を基本に、バス業者に対する認可期間と臨時営業区域を拡大したものの、26年6月末までの期間を限定した認可としている。また、国内で観光バス事故による被害も拡大していることを受け、国交省も安全の絶対的確保のため、対象を日本バス協会の認可した事業者に限定している。これにより地域による使用状況が異なる貸切りバスの有効、効率的な運行ができるものとみられ、事態解決に活路が見いだされた格好だ。

これまでも日本への外国人観光客数で上位に入る台湾だが、最近では台湾と日本を結ぶ航空路線が相次いで増設された事も起因し、2013年通年の台日間の往來旅行客数は

380万人を突破、台湾から日本への旅行客数は前年同期比で50.36%の大幅増となった(交通部観光局および台湾観光協会情報)。その勢いは衰えるどころかさらに増加の一途を辿っており、2014年1月～3月の累計では、台湾は59万6,600人(前年同期比45.8%増)を記録している。なお、5月末までに日本を訪れる予定の台湾人ツアー客は現在、500団体(約15,000人)に達している。このため、観光で必要とされる交通・輸送手段のうち、バス約500台が確保できない可能性がある、と危惧されていた。(台湾旅行業協同組合「中華民国旅行商業同業公会」の関係者情報)。

国土交通省自動車局安全政策課長の小林豊氏は台湾新聞の取材に対し「最近、貸切りバスの事故が多発しているが、台湾訪日旅行者の国内での輸送安全は絶対的に確保しなければならぬ。台湾の旅行会社には、一定の安全性評価があるバス会社を優先的に利用するようにしていただきたい」と語った。

日本の観光バス不足問題で台湾からのツアー客の足に影響が出たのは昨年7月の北海道に続いて2度目。今後も今回同様の季節変動的な運送需要増加が起きる可能性が考えられるため、日本側の行政指導に期待がもたれる。



国土交通省自動車局安全政策課長 小林豊氏



訪日観光客から人気の観光地「東京スカイツリー」

貸切りバス不足に伴う九州地区の実情

熊本電鉄の甲斐雅貴氏に影響と実態を聞いた。

「九州でも貸切りバス不足が深刻化している状況だが、問題はそれにとどまらず、今回、偶然にも同時期に設定された国土交通省が提示した新運賃適用による運賃増額の影響を懸念している。これにより、東南アジアと日本でシステムの違いによる運賃格差が生じてしまった。現在、国を挙げて訪日客を増やそうとしているが、まずはその運賃のギャップを埋めていかなければ訪日客減少につながる要因となってしまう。今回、国が実施した貸切りバスの営業区域の拡大で国交省は、提示した新運賃での適用を必須条件とした。こうなると台湾と日本と

の運賃の差はますます拡大する。私はこれが一番の問題点であると認識している。先日、台湾で様々な旅行会社の方と話をしたが、皆一堂に運賃増額の問題を一番心配しているのだ。貸切りバスの数も足りない、料金も高い、まさにダブルパンチである。このまま何も解決しなければ、台湾からの旅行者が来なくなるという世界が私には見える。今のうちから状況を打破する解決策を国をあげて考えていかなければ、多面的にもこの問題の解決はかなり厳しいだろう。」



熊本電鉄 自動車事業部 貸切課長 甲斐雅貴氏

台湾の2013年観光GDP総額が6%～10%成長

国連世界観光機関(UNWTO)がこのほど発表した世界各国・地域の旅行者数成長率トップ10の分析によると、2013年の台湾への外国人旅行客数の成長率は前年比9.7%増で世界10位。また、台湾の観光収入の成長率は前年比12%増で世界8位だった。

UNWTOが分析する資料の多くは、観光産業により創造される直接的な貢献について、各国の政府関連部門が提供したデータだが、UNWTOが2014年1月に発表した分析レポートでは、2012年の世界トップ50の国別ランキングを基にしたものである。

このほか、外国人旅行客数の成長率1位は前年比24%増の日本で、2位から10位

は順にカザフスタン、タイ、ギリシャ、フィリピン、ベトナム、トルコ、ロシア、アラブ首長国連邦、台湾となった。また、日本が2位を記録した観光収入の成長率では、台湾はアジア近隣のマカオ、マレーシア、シンガポール、韓国などよりも上位であった。

さらに、世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)が今月発表した2014年度の旅行・観光産業の経済効果に関する研究レポートによると、台湾は2013年の観光GDP(観光産業が作り出す付加価値)総額、観光雇用数、観光投資において、前年度の同レポートと比べ6%～10%の伸びを示した。また、2014年の今後の台湾の観光GDP総

額、観光雇用数、観光投資については、それぞれ3.6%増、5.7%増、8%増になると予測しており、近年台湾観光について、政府および民間の観光業者が一体となり協力している下で、安定した成長をしていることを示すものとなった。

台湾の交通部観光局は2014年1月23日、IFIT(International Federation for IT and Travel & Tourism)が、アイルランドの首都ダブリンにて開催した国際大会「ENTER 2014」で、情報通信技術ICT(Information and Communication Technologies)を観光分野に応用した優秀な観光組織を発表し、各国審査員の全員一致で2014年度「観光イノベーション賞

(Innovative Destination)」も獲得している。

また、日台間の観光面で日本政府観光局(JNTO)によると、台湾の2013年の訪日旅行者数は2,210,800人で2012年の1,465,753人を大きく上回り、過去最高を記録。月別では、旧暦の正月の時期の変動で減少した2013年1月を除き、毎月の訪日旅行者数は11か月連続で過去最高を記録している。

観光産業の拡大を目的に台湾観光局では、台湾鉄道管理局、台湾観光協会、公益社団法人日本観光振興協会及び一般社団法人日本旅行業協会とともに台日同名32駅と同姓及び同名者を抽選で駅長体験付の台

湾旅行(11月催行)へ招待する「同名さん」を実施中。こうしたアイデアも今後の観光交流の活性化になると見ており、期待がもたれている。



日本人に人気の観光地「中正記念堂」

宅配利用で遠くからでも利用OK

パソコン処分したいんだけど・・・
無料 どうすればいいの?

【依頼者にお得情報】
デスクトップSET
ノートPC (液晶割れ不可)
液晶モニター (液晶割れ不可)

QUOor 図書カード
どちらかプレゼント
(事前のご連絡をお願いします)

データの破壊サービス付
当社に依頼されたパソコンは全てHDD破壊付です。
ご希望の方は、その場で破壊致します。

壊れ・古い お引受け致します
解体→分別→再資源なので、ゴミではありません。
家電リサイクル品目 (テレビ・冷蔵庫・洗濯機・IT)は別途ご相談下さい。

【その他高価買取します】
非鉄・スクラップ・廃プラ
エアコン・銅線・給湯器、他

なんでもご相談下さい

http://www.shinrikogyo.co.jp 信利工業(株)
(大阪台湾同郷会 会長: 池平美香) 〒593-8312 大阪府堺市西区草部2009番地
tel 072-260-3688 fax 072-260-3677

世界の見え方は、あなた自身の視点で変わる

I SEE YOU

エバー航空は、スターアライアンスに加盟。皆様と一緒に多くの感動を。

EVA AIR
A STAR ALLIANCE MEMBER

WEB限定運賃 45日前、21日前までの購入がおトクです!台北行16,000円～

台日漁業協議で友好的な互惠協力の精神を強調



記念会合に出席した馬英九総統(写真提供:総統府)

馬英九総統は4月12日、宜蘭県蘇澳区漁会が主催する台日漁業協議(亜東関係協会・公益財団法人交流協会との間の漁業秩序の構築に関する取り決め)調印1周年を記念する会合に出席し、政府による漁民の権益保護についての成果を説明した。具体的な成果として、台日漁業協議発効後の台湾漁船の操業水域面積が約4,530平方キロメートルの増加や、双方の協議適用水域の総面積

が7万4,000平方キロメートルに達した事、さらに昨年台湾漁船が同協議水域で捕獲した黒マグロの漁獲量が前年比で約3.6倍増加し、売上高は約3倍成長率した、と説明。これにより、蘇澳地区の黒マグロ漁獲量が台湾全体の黒マグロ漁獲量の4割を占めるようになった事を強調した。このほか、台湾の漁民が同水域で日本側の取締りに遭った件数は協議発効前の18件から発効後は1件に減少した事なども説明した。

また、台日漁業協議の調印に関しては「台日間では15回もの漁業会談を開催していたが、双方のコンセンサスは得られていなかった。2012年、日本政府が釣魚台列島の国有化を宣言したことにより、中国大陸と日本の

間で深刻な争いとなり、当時中国大陸では20余りの都市で反日運動が展開された。その年の8月15日、東シナ海平和イニシアチブが提起され、主権分割はできないが資源は共有できると強調し、平和的な方式で争議を解決することを期待した。この理念は当時の日本政府からの賛同も得て台日双方は漁業交渉を展開。2013年4月10日に台日漁業協議の調印に至った」と経緯を述べた。

さらに台日漁業協議については、台日漁業委員会会議は定期開催しているとし、直近では2014年1月23日～24日に開かれた第3回台日漁業協議の適用海域における漁船作業規則について締結された。内容は、主として「漁船作業規則について」、「相互連絡体制の確立」、「漁具の放棄および持ち帰りの禁止」、「マグロ延縄漁業におけるトラブル回避のためのルール」など。これにより、異なる作業方法の台日双方の漁船が、同海域において作業の際のトラブル発生が回避され、トラブルが発生した場合にも円滑に解決できるようにしたもので、台日漁業協議が掲げる友好的な互惠協力の精神を具体的に示すものとなった。

人物 インタビュー 山本順三参議院議員



山本順三参議院議員

Q: 経済・文化交流が盛んだが。

A: 日本人にとって台湾が非常に重要な地域だということが理解され始めているし、順風が吹いていると思う。宝塚歌劇団の台北公演や今年の東京と九州で開催予定の台北国立故宫博物院の日本展開催なども大きな効果を上げ、ますます日台親善関係が強まっていくと思う。

Q: 日台関係を重視する政党や政治家の動向。

A: わが党(自民党)には台湾に関心が深い人がたくさんいるわけですが、日華議員懇談会は超党派であることはいいいのですが、自民党がここまで力をもってきたことを考えますと、主導権をもつてもいいのではないかと思います。逆に言うところ「我が自民党、しっかりせよ」と言いたいですね。

Q: 亜東親善協会の副会長だが。

A: 玉澤徳一郎元衆議院議員がずっと会長をされていて、数年前に現安倍首相(当時は民主党政権)が会長に就任した際に、「安倍さんは忙しい」からということで、大江康弘(現会長)前参議院議員と僕が副会長として補佐しろとなったわけです。今は大江会長を全力でバックアップしています。民間の組織は大事ですよ。

Q: 愛媛での台湾関連の活動は。

A: 愛媛県は台湾の自転車メーカー、ジャイアントと関係があります。中村時広知事とジャイアントの劉金標・董事長が仲がいいということなんです。なぜ自転車かということ「しまなみ海道」には、日本のサイクリングのメッカといつてもいい自転車・歩行者道があります。昨年(2千数百人規模)に続き、今年は10月にここで1万人規模のサイクリング世界大会を予定するなど、愛媛と台湾の関係は深まりつつありますが、この流れで昨年、松山空港と台湾の松山(そんしゃん)空港を結ぶチャーター便が就航しました。愛媛県は、ゆくゆくは定期便の就航を目指し、自転車道をベースにした様々な関係を模索していくと思いますが、農産物(みかん)の輸出など地域間交流も展開していくお手伝いをしていこうかと考えています。

Q: 東日本大震災が日台関係にもたらしたものは。

A: ある意味、台湾側も日本人の原点、「悲惨な状況下でも助け合い、暴動が起きるわけでもない」といったことを通して、かつての八田與一の話から始まる日本の素晴らしさを再認識していただけたのではないかと。好きな国はどこかというアンケートでは日本は断トツで1位です。昨年は200万人を超える台湾人観光客が来日しています。震災がこうした交流の活性化のきっかけになっていることは間違いないでしょう。同時に日中関係の問題も絡んで昨年、漁業協定が締結されたことは日台関係の深まりを象徴する出来事だと思います。

プロフィール

山本順三(やまもとじゅんぞう) 昭和29年10月27日生まれ。愛光中学・今治西高・早稲田大学政経学部卒業。川崎製鉄(株)入社。昭和58年愛媛県議会議員初当選(以来6期連続当選)、平成16年7月 参議院議員初当選。

立法院占拠の学生ら退場へ



学生グループによる記者会見の様子(写真提供:中央社)

「兩岸サービス貿易協議」に抗議するため3月18日より約3週間、立法院の占拠を続けた学生らグループ代表は4月7日夜、10日午後6時に議場から退去する事を言明した。退去理由は、王金平立法院長が取り決めた「監督制度の法制化」までサービス貿易取り決めに関連する与野党協議を行わないと政府が発表した事で、占拠活動が一定の成果を得られたとしたため。立法院は翌11日、学生らが10日に議場を退去した後すぐに本会議を再開した。会議では、学生らが法制化を訴えた中台間の協定監視に関する法案などが委員会に付託された。

馬英九総統は、学生たちの退去を評価。また行政院も同様に評価し、同時に学生らが今

後公共事務に関与する場合、合法的で理性的な運動形式にする様期待した。

学生グループの幹部や占拠活動に参加した主要メンバーは、「一連の学生運動自体にも再検討や反省が必要」とし、批判の声も受け止めている。一方、地検署の発表によると、学生団体の林飛帆と陳為廷両代表は、立法院占拠について数人から告発されていたという。しかしこの事情に対し李登輝元総統は、社会や国家のために立ち上がった学生グループに刑事責任を追究するのは無理があると、とする考えを表明した。

一連の占拠活動で、活動自体の理性感も一定の評価を得ている。学生らは立法院退去までに議場内の掃除や片づけを行い、壁に



学生らは議場内を清掃して退去(写真提供:中央社)

貼られた「兩岸サービス貿易協議」に抗議する内容の貼り紙も剥がした。さらに掃除機なども用いて綺麗な状態で立法院を明け渡した。また、議場機の引き出しには「議場を離れても遠くから皆さんを見守っています。私たち若い世代を失望させないよう頑張ってください」と、学生たちからのメッセージがつけられた紙切れなどが入っていたという話も。

学生グループの林代表は「この退去ですべて終わるわけではない」と主張。台湾国家の繁栄のための民意による監視活動はこれで終息ではないと見られ、動向いかんでは、さらなる抗議活動も辞さない構えだ。

歩行支援ロボットの商品化支援で連携プロジェクト発表会

台湾・工業技術研究院(ITRI)が開発した歩行支援ロボット「Active Gear」の商品化に向けた発表会が3月24日、東京港区・泉ガーデンタワーで開かれ、同時に会見及びデモンストレーションも行われた。ITRIを支援してきたテムザック社との連携プロジェクトによるもので、国内でのさらなる開発と商品化を目的に、鳥取大学医学部付属病院、早稲田大学理工学術院ヒューマノイド研究所、アダチなどをパートナー機関として開発を進める事を明らかにした。

会見では、台湾から来日したITRI機械システム研究所技術ディレクターの胡竹生氏やマネージャーの巫震華さん、テムザック技術研究所の高本陽一会長、テムザック技術研究所の榎山康明社長などが参加し、胡竹生氏と榎山康明氏はパートナーシップセレモニーでサインと握手を交わした。また、メインイベントのデモンストレーションでは、開発途中の歩行支援ロボット「Active Gear」が披露された。「Active Gear」は体の不自由な患者の歩行

を補助するロボットで、腰から太もも、ふくらはぎ、足にかけて装着する。鳥取大学医学部付属病院の医療機器部門長・植木賢氏によると、「Active Gear」の特徴は、股関節及び膝関節のパワー支援、歩行、立ち座りなどの移動に無駄なく力を省くことや、腰部に開閉装置の装着で利便性向上、歩行する際の動作司令を筋電位ではなくコントロールクラッチにあるスイッチで行うことができる優位性を説明した。

実際に装着した感想を聞かれた脊損患者の舒天縦さんは、「1年前、最初に使用した時は興奮した。一般の補助器具は力がかかるが、これは負担がないので楽。ある程度サポートしてくれるので安定していて、まるで背もたれがある感覚だ。自分にもう一度立ち上がるチャンスを与えたこのロボットに感謝したい。今後、このロボットが改良され、もっと軽くなり、自分の生活に入り込むように進化してくれたら嬉しい」と話した。

デモンストレーション後の質疑応答では、サプライズで鳥取県知事・平井伸治氏が登場。

中国語、台湾語を用いた挨拶後、開発支援について話していた。鳥取県と台湾の交流についての質疑では、「台湾交流のきっかけは鳥取県産の梨の輸出から。今では県内二つ町が台湾との姉妹提携を始めている。そういう意味で全国でも台湾との交流が進んでいると言えるだろう。今後、今回のような経済面での交流も発展させていきたいと思う」と期待を寄せていた。



Active Gearを装着した脊損患者の舒天縦さんが台湾との姉妹提携を始めている。そういう意味で全国でも台湾との交流が進んでいると言えるだろう。今後、今回のような経済面での交流も発展させていきたいと思う」と期待を寄せていた。

沈斯淳代表と蒲島郁夫知事が 経済交流に向け会談



蒲島郁夫知事(中央)は陳菊高雄市長(右)を訪問(写真提供:中央社)

台北駐日経済代表処沈斯淳代表と蒲島郁夫熊本県知事は4月2日、県庁で会談し、台湾南部最大の都市である高雄市と県を結ぶ定期便開設に協力する事で合意した。蒲島知事は、昨年度の国際チャーター

便運航が過去最多だった事を説明し、県と高雄市の経済交流に関する覚書締結を提案。「熊本県と高雄市の交流がより活発になるよう、定期便就航に力添えをお願いしたい」と話した。

これに対し沈斯淳代表は「産業交流と対話の促進に向け1日も早く定期便が実現するよう、双方が努力すべきである」と答えた。

なお、熊本県の蒲島郁夫知事は3月25日、高雄市との交流強化のため、陳菊高雄市長を訪問しており、両都市間の定期便就航の早期実現に協力を求めた。陳市長はこれに対し、「都市交流と定期便就航は双方の観光業発展に寄与するとし、その早期実現に向けて努力する」と述べている。

台湾知財セミナーで台湾の知財の現状とユーザーの動向・要望を紹介

公益財団法人交流協会は3月20日、港区六本木の泉ガーデンカンパニースセンターで台湾知財セミナー「～台湾の知財の現状、台湾ユーザーの動向、要望を紹介～」を開催した。セミナーの講師には、台湾の知的財産行政を統括する智慧財産局のトップで知財全般のエキスパートである王美花局長と、台湾のバイオ医薬審査と早期審査施策を担当

する吳佳穎課長の2人。王美花局長の日本での講演は今回で4回目。吳佳穎課長は日本での初講演となった。参加者は、一般個人に加え企業の知財部や弁理士など数多く参加した。

王美花局長は、知的財産法制度の発展と現状、審査業務の概況、知的財産制作及び国際交流などについて講演した。日本との関

係として、日本の台湾専利出願状況は一貫して高い水準を保っている事を強調。また、日台商標審査官交流では、双方の審査実務について十分な相互理解があり、頻繁に日本の専門家台湾に招き入れ、日台審査官の深い友好関係を構築しているという。講演の最後には「台湾の知財制度が、台湾の人々並び海外の人々からも良い制度だと思っ頂ける

ように、さらなる向上を計りたい。」と目標を掲げた。

続いて吳佳穎課長は、特許加速審査措置、特許関連案件連合面接プログラム、コンピュータソフトウェア関連発明審査基準などの台湾専利重要行政措置について講演した。日台間の優先権証明書類の電子的交換の面では、日本は外国人による台湾への専利

出願において出願件数の最も多い国家であり、2013年は14013件に達したとする一方、台湾人による日本出願の年間出願件数も3000件に迫っていると話した。また、出願人の優先権主張に資するため、日台双方は昨年より優先権証明書類の電子的交換作業の提携を開始した、と説明し、参加者の日台における専利状況への理解を深めた。

第3回台日文化交流 ～東日本大震災復興支援～の目標は『エコと精進』



今回の開催を祝したくす玉開き

台日文化交流実行委員会が主催する「台日ベジフェスティバルin池袋 第3回台日文化交流～東日本大震災復興支援～」が4月5日、晴天の池袋西口公園で開催された。会期は5日、6日の2日間。初日の5日には台北駐日経済文化代表処の沈斯淳代表夫妻及び台日文化交流実行委員会邱美艶委員長、小池

百合子衆議院議員、堀宏道東京都議会議員などが来場した。開会式に先立つ午前11時、東日本大震災で亡くなった方々に対する黙祷が捧げられた。続いて開会の挨拶では、最初に邱美艶委員長が「現在の地球環境をこれ以上悪化させぬよう、より良い環境を子孫に残すために、

今回は『エコと精進』という新たな目標を設定した」と述べ、さらに「苦境にあっても天を恨まず、運命に耐え助け合って生きていくことがこれからの私たちの使命です」と、気仙沼市立階上中学校卒業式の梶原裕太君の答辞を紹介した。次に挨拶した沈斯淳代表は「台湾は日本と同じように自然災害が多いので、台湾の人々は我が身のように受け止め、自発的に支援物資や支援金寄付などの支援活動を行ってききました。今回のイベント開催も台湾の人々の思いやりの気持ちがある根拠にしていること、強い証だと思っている。東北の被災地の復興が進んでいくことを心より祈念している」と語った。また、小池百合子衆議院議員は、東日本大震災の際に台湾から多くの支援があったことに対して感謝の言葉を述べ、「国境を越えた多くの諸問題についてはこれからも台日間で連携をとっていききたい、また昨今の情勢を考えると、



演目「千手観音」



各ブースをまわる台北駐日経済文化代表処・沈斯淳代表

民主主義、報道の自由、人権、これらの共通の価値観を持つ2つの国がしっかりと連携していくことが重要な安定へ確保となると確信している」と話した。その後はNPO法人国際ブリアーと台日文化交流実行委員会より、豊島区社会福祉協議会と福島県南相馬ソーラー・アグリパークへそれぞれ義援金を贈呈した。また、邱美艶委員長が佛光山太慈育幼院へ感謝状を贈呈した。そして今回の開催を祝したくす玉開きが行われ、続いて豪華商品(商品券2枚、チャ

イナエアラインより東京―台北往復航空券1枚、エバー航空より東京―台北往復航空券1枚、東京ディズニーホテルの宿泊券及びパークペアチケット)の特別抽選会となった。開会式後は武蔵太鼓、獅子舞、民族演芸、津軽三味線など、台湾と日本それぞれの文化的演目が催され、会場を盛り上げた。沈斯淳代表夫妻は会場に設置された各ブースをまわり、台湾産コーヒーや台湾料理などを楽しんでた。

「東京台湾商工会議所一周年慶祝大会ビジネスサミット」が開催

東京台湾商工会議所(台商会=錢妙玲会頭)主催の「東京台湾商工会議所一周年慶祝大会ビジネスサミット」が4月8日、ホテル椿山荘東京で開催された。

東京台湾商工会議所は2013年3月23日設立の政府承認の非営利団体で、在日台湾人の企業集団。現在、100社を超える企業が参加しており、目下、参加企業は増加している。台商会の目的は、東京都の台湾出身者やその子弟の商工業従事者、そしてその関係者を基盤とし、日本国内にある他地区の台湾商工会議所との商工業の総合的な交流を図り、会員の経済、福祉、文化、生活を促進させその発展に寄与する事としている。

日台の経済交流を目的として行われたビジネスサミットのプログラムは、第5回理監事会、中国語・日本語によるセミナー、懇親会の3分野で構成された。理監事会では錢会頭をはじめ、東京台湾商工会議所の理事・監事らが集まり、前年度の活動報告や決算、そして東京台湾商工会議所の法人化推進の協議が行われた。

法人化の協議では、参加した税理士大塚塚仁氏が「法人化することで税金の申告が必要となるデメリットはあるが、メリットは個人ではなく組織として認識されるという面がある」と説明。その後の採決では、賛成多数で法人化が可決され、今後は法人化の準備が進められると見られる。このほか、ゴルフ大会の企画、参加呼びかけや、新任青年部部長の劉怡慧さんの挨拶なども行われた。

日台双方に役立つセミナー開催

セミナーでは、台商会の理事・監事や企業経営者などが参加。日台双方に役立つ内容のセミナーとあって、会場は終始満員状態。関心の高さがうかがわれた。内容は海外信用保証基金董事長薛盛華(企管博士)によるセミナー「信保基金對海外僑台商融資保」(中国語)、近藤博章氏によるセミナー「挫折から学ぶ成功の秘訣～借金7000万円、自己破

産、離婚、親子断絶から。4年で年収16億円の復活劇～」(日本語)、台北駐日経済文化代表処副代表・余吉政氏によるセミナー「台日経済交流及び産業連携の展望」(日本語)だった。

余吉政氏はセミナー内で、日台間における経済面、観光面の現状などについて「日台の関係は非常に密接であり、観光、投資、貿易などの面で積極的に海外展開をする日本企業にとって、台湾はベストパートナーである」と述べたほか、現在台湾で問題となっているECFAに基づく「兩岸サービス貿易協議」についての詳細な説明があり、参加者は同協議についての理解を深めた。

また、近藤博章氏は原因として近藤氏は、成功の秘訣や失敗の原因など、自分の人生から学んだ知識を説明し、参加者ともに内容を共有していた。さらに薛盛華氏は終了後、信保基金對海外僑台商融資保について「海外にある台湾企業にとってこのシステムは利用しやすく有益なものである。日本では3.11や金融危機、円安の影響により減少気味だった利用者も、これからまた増えていくだろう」と持論を展開していた。

懇親会で多数の祝辞と賛辞

懇親会には東京台湾商工会議所の会員はもとより、華僑団体の会長など企業経営者からの参加もあり、合わせて300人近くが参加した。会場内の舞台には華やかなお祝いの花が飾られ、一周年記念にふさわしい雰囲気

に包まれた。錢妙玲会頭の式辞により懇親会が始まり、祝辞は台北駐日経済文化代表処沈斯淳代表をはじめ、西田まこと参議院議員、魚住裕一郎参議院議員、亜東親善協会大江康弘会長、東京台湾商工会議所最高顧問詹德薫氏、海外信用保証基金薛盛華董事長、熊本県バス協会中島敬高会長、茨城県商工連合会真藤実男副会長など多数から寄せられた。この後、台湾人歌手雲寒さんと日本人歌手

一周年記念大会



東京台湾商工会議所・錢妙玲会頭



第5回理監事会の様子

真真さんによる歌謡ショーや、豪華賞品が当たる抽選会などが催され、懇親会は大盛況。懇親会後、沈代表は「この度、台商会一周年慶祝大会に参加できたことを嬉しく思う。大先輩方の努力と、この1年錢妙玲会頭を筆頭とする台商会理事・監事らの努力の下、このような成果が見られたのだろう。これからも同結を続け、日台間の経済的発展のため、お互い協力に密接に関わっていくことを希望する」と述べた。

東京台湾商工会議所一周年慶祝大会を



式後、全員で集合写真

やり遂げた錢会頭は「本日は多くの日本企業関係者や日本人の皆さんが参加してくださり、我々台商会のメンバーと一緒にこの会を盛り上げられたことを非常に嬉しく思う。この会を通じて日台間の経済交流がさらに発展していくことに期待したい」と語った。また、今回のビジネスサミットに大阪から足を運んだ謝美香僑務委員は、「様々な意見を取り入れ、経済フォーラムの場を創り、講演を行った錢妙玲会頭には誘導力と知恵があると」賛辞した。



海外信用保証基金董事長薛盛華氏によるセミナーの様子

感謝台湾おもてなし企画で台湾人の参加が無料



桜の下で集合写真

NPO法人日台学生交流会主催の東京花見2014感謝台湾おもてなし企画が4月5日、1923年関東大震災被災後の復興事業として作られた錦糸公園で行われた。

この企画は、東日本大震災から3年経過後に、これまで台湾からの多大なる支援に改めて感謝の気持ちを伝える事を目的に考案された。さらに、日本の未来や日台間交流のさらなる発展を祈願する、との意も含まれた。参加者は約100人。桜が満開のピークを迎えた錦糸公園内で、広げられた4枚のブルーシートに日台交流を目的に集まった幅広い年齢層の日本人と台湾人が埋め尽くされ、中国語と日本語が交互に飛

び交い、賑わいをみせていた。今回の企画は日本人から台湾人への「おもてなし」という形で行われたため、台湾人参加者は皆無料。日本人参加者は参加費に加え、お酒やお菓子などの差し入れを持参し、もてなしていた。なかには浴衣を着ておもてなしの心を表した人もいた。

開始間もなくは見ず知らずの他人同士だったがお花見で徐々に交流を深め、時間経過とともに打ち解け、集合写真を撮影するなど、時には元から友人だったかのように楽しく会話をする姿もあちこちで見受けられた。日本に留学して半年という台湾人男子留学生に今回の感想を聞くと「今日のおもてなしに感謝します。僕はあまり日本語が話せませんが、日本人はみんな優しくしてくれた。新しい友達も出来てうれしい」と話していた。

同企画は、そもそもNPO法人日台学生交流会が20年開催の東京五輪に向けて実施している「感謝台湾おもてなし」作戦の一部として行われたもの。NPO法人日台学生交流会の代表理事・和田健一郎さんは、「台湾に住む高齢者は日本語をしゃべれる率は格段に高い。一方で日本人が『台湾華語』を言語とし

て発するケースはまれ。中国語に比べ親しみやすい『台湾華語』を普及させる事で、日台交流の拡大を目指したい。言葉の壁による種々な問題を解消させ、日本国内で活用する共通言語を『台湾華語』にするための運動を展開しています。震災時に支援してくれた台湾への感謝の気持ちを『台湾華語』で伝え、それをおもてなししよう」とその狙いを話していた。またこの作戦は、今回の交流会形式の内容のほか、日台交流の次世代人材育成や、台湾華語を広めるための情報発信(SNS、書籍「中国語は台湾で学べー台湾華語のススム」出版企画、ゆるキャラのLINEスタンプ開発)なども計画されている。



お花見を通しての日台交流

楽器演奏と遊びを通じて日台の学生らが交流

中華民国「国立台湾戯曲学院」戯曲音楽学科の学生による「日・台友好の響」が3月29日、大阪府の岸和田市浪切小ホールで開催された。主催は「日・台友好の響」実行委員会。学生らは、琵琶・柳琴・揚琴・鋼琴(ピアノ)・笙・二胡など様々な珍しい楽器を使って演奏し、会場を盛り上げていた。大阪府立久米田高等学校太鼓部の学生も友情出演し、迫力の3曲を演奏した。帰り道、多くの観客は「良かった」「感動した」「毎年開催して欲しい」などと賞賛した。



舞台写真

阪経済文化辦事處、中華民国留日大阪中華總會からの来賓もあり、生徒に混じり朱金龍・唐厚明両先生の演奏も行われた。

「日・台友好の響」実行委員長桐原喜彦氏は「この度の国立台湾戯曲学院訪問団の来賓は、日台交流の一翼を担ったのではない。か。未来の台湾、日本の社会を背負ってゆく若者に混じり、そのエネルギーを分けてもらった2日間だった。国立台湾戯曲学院の限らない発展を心から祈る」と述べていた。

マンゴーチャチャ日本第一号店が原宿に初出店



雪だるまはなんとかき氷機! 店内は白とオレンジで統一

台湾マンゴースイーツ専門店「MangoChaCha」(マンゴーチャチャ)が4月12日、日本第一号店として東京・原宿に初出店した。これまで台湾で数店舗を展開して人気を博している実績を生かし、日本市場に参入した。使用するマンゴーは全て台湾産のアップルマンゴー。それを瞬間冷凍の技術を用いて商品化している。季節を問わず甘くて美味しいマンゴーの日本での人気に期待が分かる。

オープン前、店の外には長蛇の列ができ、日本の消費者の期待度が高いことが見受けられた。日本マンゴーチャチャ社長・宮下美智子さんは日本出店について「原宿は女性が集まる場所であるため、スイーツを発信していくには

抜群のロケーションだということ。原宿を選んだ。様子をみつつ、年内をめどに都内に2店舗程度の開店を計画している。これからは全国的に店舗数を増やしていき、日本中の人に台湾マンゴーの美味しさを伝えたい。さらにイベントや海の家への出店も考えている」と話した。

メニューは台湾とほぼ同じ。「マンゴーかき氷」がメインメニューで、このほかマンゴーパフェやマンゴーティーなども。商品のネーミングも「元カレ」「初恋」「モチキ」などバラエティーに富み、遊び心が感じ取れる。それに加え、日本限定メニューとして「マンゴーマカロン」を新登場させた。宮下社長によると、「マンゴーマカロン」は冬にかき氷を食べる習慣の無い日本人向けに、季節関係なしにマンゴーを楽しめるように開発した、という。また、台湾人は1年を通してかき氷を食べる習慣がある。その台湾人の食文化を日本にも、との思いもあるようだ。

日本初出店のために台湾から駆けつけた台湾マンゴーチャチャ社長・張智閔氏は「初

日にこんなに沢山の方が来店してくれてとても嬉しく思う。実はマンゴーチャチャはすでに韓国や香港などに進出している。どこの国でも使用しているマンゴーは100%台湾産のアップルマンゴーで、添加物は使っておらず、健康にもいい。それぞれの国により異なった限定商品も展開している。台湾産マンゴーを食べた人が幸せになれるよう、さらに努力していきたい」と語った。

開店の2時間前から並び、記念すべき日本1号店1人目の来店者となった女性は、実際にマンゴーチャチャのマンゴースイーツを食べ

て「さっぱりしていて食べやすいので、甘い物が苦手な人も食べられると思う。マンゴーの味はしっかりとっていて、かき氷はふわふわ。マカロンはしっかりとっていて甘くて美味しい」と満面の笑みで話していた。



マンゴーかき氷を味わうカップル

「黒田官兵衛」チャイナエアライン 機内食に登場!

九州と台北を空の便で結ぶ架け橋として様々な活動を行うチャイナエアラインが、さらに魅力あるアクションを仕掛けた。同社では4月1日から、福岡発台北行の便(CI111便、CI117便)エコノミークラス機内食で、福岡に所縁のある武将で、現在NHK放送の大河ドラマで注目されている「黒田官兵衛」にちなんでスイーツの提供を始めた。

提供されるのは如水庵の「官兵衛の赤合子」餅どら。ブレンドされた小麦粉ともち米、もちもちとした黒糖生地と粒あんを包んだ「餅どら」スイーツは、形状もユニークで「官兵衛の赤合子」を表現。6月30日まで提供される予定だ。九州を訪れる台湾人客は年々増加傾向。「福岡」地場のスイーツは台湾人をさらに魅了し、福岡から台湾へ向かう日本人搭



チャイナエアライン機内食に搭乗した「黒田官兵衛」

乗客にとっても「日本のスイーツの美味しさの再発見」へと繋がること予想される。チャイナエアラインは「当社は福岡と台湾の架け橋として、搭乗いただいた皆様に『日本の歴史』を紹介したい」としている。

台湾料理教室で楽しく美味しく台日交流



ワンポイントアドバイスをするウィニー先生(写真中央)



完成! (左から青菜炒め、魯肉飯、大根とエビ団子スープ)

日本テレビ系列で放送されている人気番組「キュービー3分間クッキング」でおなじみの台湾人料理研究家、後藤ウィニー先生による「ウィニー先生の台湾料理教室」が4月6日、よみうりカルチャーと台湾文化部との共催企画として、よみうりカルチャー錦糸町センターで開講された。3月末から6月までの期間、荻窪、北千住、恵比寿、錦糸町の各センターで台湾文化を学ぶ10講座の一環として開かれたもので、台湾の文学、映画、料理など、様々なジャンルで楽しく台日交流を深めるのが狙い。錦糸町センターで行われたのはこの料理教室1講座。

講師のウィニー先生は、今回開催の理由を「今回は台北文化センターの親しい方から声をかけて頂き、私自身も日本人に台湾料理を伝え、もっと台湾料理に親しんでもらいたいという思いがありました」と話した。今回集まった受講者は21人。よみうりカルチャーのスタッフによると、これはよみうりカルチャーで開催している他の料理教室の参加人数より多いという。受講料が材料費のみという点も人気の理由という。

受講者のほとんどは30代～50代前後の日本人女性だが、なかには台湾人や男性の姿も。参加した30代女性に今回の料理教室への意気込みを聞くと「台湾、そして台湾料理が好きということで参加した。先日、魯肉飯の缶詰を購入してみたが、自分で作って食べるのは初めてなので楽しみ。しっかりと覚えて帰りたい」と話した。

メニューは台湾の代表的な料理、魯肉飯(台湾風ミートソース丼)と大根入りエビ団子スープ、青菜炒めの3品。魯肉飯を煮込んでいる間にスープと青菜炒めを作

るという流れだった。料理中も受講者同士、台湾に関する話題などで盛り上がった。ウィニー先生は「魯肉飯のポイントはエシャロット」や「魯肉飯はカレーやシチューの様に前日に作っておき、翌日食べた方が味が良くしみ込み美味しい」、「エビ団子は300回練る」など、ワンポイントアドバイスを交えて受講者と交流するという進行だった。なかでも青菜炒めを炒める際、フライパンから大きな炎が上がり歓声がおこるというシーンもあった。

料理が完成すると、教室内は食欲をそそる台湾料理独特のいい香りに包まれた。「匂いだけでご飯一杯は食べられるのではないかと話す受講者も、実際に出来上がった料理を食べた受講者達は、皆が「おいしい」と口を揃え、教室内は笑顔にあふれていた。食は人と人を繋ぐもの。受講者はほぼ日本人だったが、これも一種の台湾料理を通じた日台交流となったのではないだろうか。

講師のウィニー先生は、日本の食材で台湾料理を作りたくて様々な食材でチャレンジするうち、ウィニー流の料理が評判となり、料理教室などで教えるように。レシピ本『Winnieの台湾キッチン』も出版しており、来月には2冊目の撮影も始まる。次回の料理教室開催は9月の予定。



台湾料理を堪能する参加者たち

台湾映画界で活躍する日本人蔭山征彦さん



台北市内での蔭山さん

目標は俳優、脚本家、監督のマルチ映像人間

16歳の頃から舞台演劇の勉強を始め、18歳の時にプロダクションに移籍。映像中心の俳優となる。活動拠点は2004年から台湾に移っており、中国語はネイティブ並で、台湾語も流暢に話せる台湾映像業界で活躍する蔭山征彦(38歳)さんをインタビューした。

Q:どのように俳優になったのですか?
A:16歳にテアトルアカデミーに入団。商業舞台を中心に活動。大学は一芸入試で有名な亜細亜大学に、1998～99年に北京に留学し、中国語を一生懸命に勉強しました。帰ってから、台湾中部に大きな地震が起こり、中国語が話せるので、現地にボランティアにいかないか、という話があり、99年に初めて台湾に行きました。2000年に亜細亜大学を卒業しましたが、もっと中国語を勉強したいと思い、親日的でもある台湾の政治大学語学センターに1年間留学しました。そして台湾で俳優の仕事をしたと2004年に芸能ビザを取りました。現在は、映画制作会社所属の俳優です。

Q:活動歴などは?
A:2005年に映画「経過」(監督鄭文堂)の準主演島栄一郎役でデビュー。その後

TVドラマやCMなどに出演。2012年大作映画「KANO」(製作統括魏徳聖、監督馬志翔)では、演技指導及び日本語指導を担当。台湾人の考え方、性格など大変勉強になりました。

この映画は日本の甲子園野球に初出場して決勝まで進んだ台湾の嘉義農林高校野球部の話で、今年の2月に台湾で公開されます。2012年は映画「手機裡的眼涙」(監督張世傑)の主演林昌宏役をやりました。

Q:今後の目標などは?
A:まず、中国語がしっかりとできないと、台湾では仕事できません。この10年、自分では台湾人からみて普通に違和感がないようなスピード、語彙などを気にしてきました。国籍がキャストイングを妨げないように努力してきました。セリフも演技も、台湾の役者と同様に演技ができるように努力してきました。15年前に北京の中央戯劇学院で勉強したときは、文法はいまいちでしたが、発音に最大の努力をした結果だと思っています。

現在の目標は2つあって、1つ目は中華圏では一番の俳優になること。つまり映画の主演をやることです。2012年に「手機裡的眼涙」(父の子守歌)というアート系作品で、主演をやりました。外国人の男として台湾映画で初めての主演でした。主演をはるという目標は達成しましたが、思ったより達成感がありませんでした。次のステップとして映画制作に入るということが目標になりました。丁度高校野球映画「KANO」という大作が2012年11月から2013年3月まで撮影がありましたので、2013年日本語の指導と演技指導として参加しました。この

作品で俳優としてだけでなく、制作サイドから映画をみるのができ、大変勉強になりました。

台湾では映画監督は脚本がかかることが、とても重要です。自分で脚本を書いていたなら、台湾の大女優で名監督でもあるシルビアチャン(張艾嘉)氏から、映画化しようと提案があり、昨年の9月から11月まで撮影してくれました。自分の脚本がどのように撮られるかが気になり、ノーギャラで、ずっと監督についてみさせてもらいました。この作品は「念念」といって現在ポストプロ中で今年2014年公開予定です。

いま蔭山は脚本が書けると、映画業界で次第に知れ始めました。「念念」のお陰でオファーがあり、共同で脚本を書き始めました。時期がきたら次のステップ、つまり自分で書いたものを自分で監督する時期に入りたいと思っています。

役者としては、今年4月から連続TVドラマの出演が決まっています。今は、役者でも、脚本、監督でも声がかかれば何でもやり。経験を積みたと思っています。そして、作品を多面的に見たいと思う。いまの若者はアグレッシブでないとはいわれませんが、自分は自信を信じて、決して後悔をたくりません。常に野心を持ち、いろいろな所にアンテナを張っていきたくと思います。



映画「父の子守歌」より

簡単で効率のよい経理を支援します

大塚会計事務所

起業された方や、J-SaaS(サーズ)やパソコンで会計を始めるとい方へ、毎日の経理処理や経理作業を簡単に効率よく進められるやり方をご支援いたします。

お気軽にご相談下さい

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-12-1 佐伯池袋ビル306
TEL: 03-3985-5730
FAX: 03-3985-5731

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

嘉南旅行社

東京都知事登録旅行業第3-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥27,000(税別)	北京 ¥30,000(税別)	上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別)	韓国 ¥27,000(税別)	越南 ¥32,000(税別)
香港 ¥30,000(税別)	曼谷 ¥32,000(税別)	新加坡 ¥32,000(税別)

●代辦中國、東南亞諸國簽證 ●世界各地便宜機票、酒店及團體旅遊
●來日團體的酒店、派車、導遊 ●電腦訂位、迅速、確實

※銀行匯款口座
精通國、臺、日語服務親切 三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店(番)3678888(名義)嘉南觀光(株)

營業時間: 週一～五 9:30～18:30 週六 9:30～13:00
TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989
地址: 〒169-0073 新宿区百人町2-20-1 第二岡田屋ビル401

ガス消費量 最大90%カット!
～コスト&CO2削減で、人と地球にやさしい～

台湾で大注目の**SUPER-SAVER**蒸し器!

特殊構造による効果

- 排熱の再利用でガス消費量大幅カット
- 優れた保温力、熱損失を防止
- 食材を均一に加熱

代理店 募集中

FOOMA JAPAN

2014国際食品工業展 6/10～6/13
ブース番号 東4A-16

この機会にぜひ実物をご覧ください。招待状ご入用の際はご遠慮なく、お申し付けください。

CHOKO CO.,LTD. 台湾高雄市前金区七賢二路417-1 4F
E-mail:sales@choko.asia TEL:886-7-216-7357 担当:長尾

訪恩の交流 (初めての出会いに感動を覚えて、次の姿を!!)

入場料
(全会場)

無料



- 開催日時：2014年7月5日(土)
- 場 所：豊島公会堂(豊島区東池袋1-20-10)
- 開 場：午後18:30
開 演：午後19:00
- 主 催：ACC東京&世界華人工商婦女企管協会日本分会
後 援：日本台湾商会聯合總會、台湾觀光協會、中華民國留日東京華僑總會、中華民國留日東京華僑婦女會、中華民國留日台灣同鄉會、東京台灣商工會議所、日本華商總會、日本台灣福祿壽會、中華民國留日東京同學會、日本國際客家文化協會、旅日榮光聯誼會、日本華商觀光協會、日本媽祖會、東京媽祖廟管理委員會、千葉台灣商會、埼玉台灣總會、江西同鄉會、台灣同鄉協同組合(順不同)

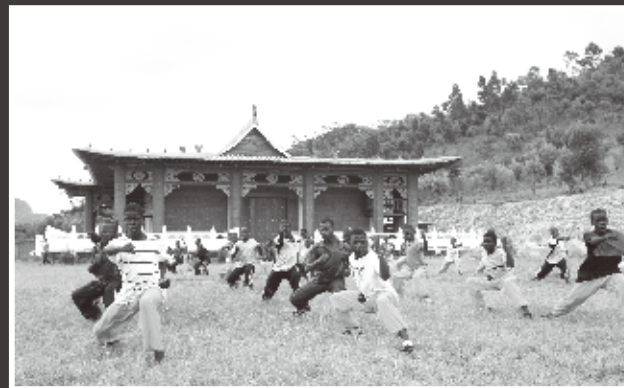
「アフリカの子どもたちからの贈り物」

アフリカ、マラウィ共和国の孤児たちによる劇、パフォーマンスなどのショーが日本にやってきました!!

親がエイズで亡くなり、アフリカ、マラウィ地区を中心に孤児となった6000人以上の子どもたちを引き取り、生活から教育までサポートしているのが「ACC ケアセンター」。

生活だけでなく台湾出身の慈善事業家が賛同者の協力を得て、人生経験を基礎として実益を含めながら、子供達に勉強、武術で身体を鍛錬しています。

今回、公演を通して、日頃からご援助頂いている日本の皆様に感謝の意を表すると共に孤児院の運営にご理解とご援助を頂ける方々との新しい出会いの場を創世する事を主旨としています。



- 開催日時：2014年6月27日(金)
 - 場 所：京都府民ホールアイティ
 - 開 場：午後17:30 開 演：午後18:00
 - 開催日時：2014年6月29日(日)
 - 場 所：中之島公会堂
 - 開 場：午後15:00 開 演：午後15:30
- 主催：大阪中華総会、京都華僑總會、大阪台湾同郷会、大阪中華總會婦女会、日本関西台商協会
協賛：大東洋レストラン、信利工業(株)、(有) 琵琶湖興業、(有) 深商店、ハヤマ産業(株)、中華民國在日近大校友會、フルーコーポレーション(有)、欣華會、台湾小吃店168、カキウチ商事(株)、上島貿易(株)、(有) ケイ旅サービス、沖繩ステーションホテル牧志、新垣通商、サンサンサービス(株) | 順不同

- 開催日時：2014年7月1日(火)
- 場 所：いちのみや桃の里ふれあい文化館
- 開 場：午後13:30
- 開 演：午後14:00
- 主 催：ACC&山梨台湾總會 後援：笛吹市

- 開催日時：2014年7月3日(木)
- 場 所：横浜中華学院
- 開 場：午後14:30
- 開 演：午後15:00
- 主 催：ACC&横浜中華学院

指導：中華民国外交部、僑務委員会、台北駐日經濟文化代表処、台北駐大阪經濟文化辦事処、台北駐日經濟文化代表処横浜分処



私を再び刺激する金瓜石

戦前の日本統治時代、東洋といわれた金瓜石鉱山が、いま私の頭の中で、昨年秋から今日までずっと甦って刺激をしつづけている。

2012年11月に島根県の石見銀山が世界遺産に登録されて5周年を記念して開かれた国際シンポジウムの記録集「石見銀山と台湾の鉱山」(島根県教育委員会2014年10月発行)が昨年届いた。石見銀山の経営をしていた藤田組は、その後、九份の鉱山(正式には瑞芳鉱山)の経営にも乗り出した。そこで石見と台湾の九份、隣の金瓜石鉱山は密接に、人的、技術的に関係していたことが日本と台湾の研究者たちの手で明らかにされた。また、今年3月には、神奈川大学非文字資料研究センターの「海外神社とは?」と題する公開研究会が横浜みなとみらいで開かれた。4人の報告者のうち2人が台湾からで、国立台北藝術大学の黃土娟さんと林承燾さん。林さんの報告は「戦後台湾における神社建築の処理政策と金瓜石神社の再利用計画について」で興味深かった。戦前の金山と神社の祭事の再現を通じて金瓜石の歴史に向き合い、街おこしを試みようというのである。金瓜石の街は鉱山を営む日本鉱業が形づくり、金の露頭の傍には神社が建てられた。街の主人公は日本人であったが、職を求めて台湾各地、大陸からも多くの人がやってきた。戦後、神社は破壊されるが、山の参道の上に、遺跡が残っている。祭りは、日本人だけでなく、

台湾人にとっても祝い事だった。当時子どもだった台湾人が往事を語り祭りの企画に参加していく。当時、神輿をかついだ子どもに森永のキャラメルが配られたので、再現された祭りでも。味覚も記憶だ。

私は2009年に金瓜石を題材としたドキュメンタリー映画「雨が舞う」を製作したが、この70年前の子ども、張阿輝さんにその時代の話聞いた。もちろんキャラメルの話もある。懐かしい。張さん、まだまだ元気ですね。

福岡の男性から連絡がきた。「年老いた母が子ども時代を過ごした金瓜石の映画(「雨が舞う」)を観たが、6年前、博多の映画館でも上映されたが行けなかった。DVDが観たい」という。何度も請われてお送りしたところ彼の母から手紙が来た。現在86歳のその女性は、丁寧なお礼の後、5歳の時、台湾に渡り14年間暮らした金瓜石について「山神社、大森さんの床屋さん、小学校、運動会、病院、配給所、三宅の叔父さま方・・・もう頭の中は、幼い頃の思い出、うれしかったこと、また、よみがえったこともありましたが、公学校に1年つとめさせて頂きました。台湾の子どもさんとお勉強をしたり、お話ししたり、目の前にみなさんの可愛い顔が浮かびます」と綴られていた。「身体は弱ってききましたが、くよくよしないで生きていきます」。幼少・青春時代の思い出が彼女に力を与えたのだろう。「雨が舞う」を観た日本人のこうした手紙は、公開当時には何

林 雅行 (映画監督)

十通も頂いた。こうした声を聞く度に、私は金瓜石に出かけて行きたい衝動にかりたてられる。

さて、金瓜石では日本人の下で地元台湾人の有力者が、台湾各地、大陸からの出稼ぎなど多くの労働者を雇って下請作業を行っていた。日中戦争が長期化し、太平洋戦争が始まる中国での反日運動につながっている者がいるのではないかと疑った日本の官憲は1942年、こうした有力者を検挙し、刑務所に収容した。収容された台湾人は1945年5月米軍の台北空襲で犠牲となった、金瓜石の7人の台湾人軍中の中に含まれていた。私はその中の一人の子息を取材したが、当時(2008年)はこれからこの事件の本格的な調査が始まるというだった。2012年12月に報告書「1942金瓜石事件」(新北市瓜山國民小学校校友会編)が完成。私の取材した子息は、校友会理事長である。2013年12月には、台湾の文化部国家人權博物館(準備室)が事件の受難者・関係者の記録報告書をまとめた。70年を経て調査解明された悲しい事実。だが、遺族にとっては、苦渋の70年だったに違いない。送られてきた報告書を手にして、日本人としてこうした歴史に目を閉じてはならないと改めて決意しているこのごろである。やはり近々、金瓜石に行くことにした。

～映画を通して見えてくるもの～ 外国についての理解も映画から

嘉義農林高校を描いた「KANO」が台湾で大ヒットするなど、日本、台湾ともに映画ファンは多い。台北駐福岡経済文化弁事処の戎義俊所長は、福岡で開かれた台湾映画祭オープニングセレモニーで、「小さい頃よく日本映画を見た」と話しておられたが、国境を越えて「映画の感覚」は共有できることが多い。日本と台湾を往復する際、機内放送で映画をよく見る。「日本で公開されていない作品」が放映されていたり、機内は「映画鑑賞にはもってこい」の空間だ。映画にはそれぞれのお気に入りの作品がある。私にとってのベスト3は戦時中の収容所での親子の情を描いた「ライフ・イズ・ビューティフル」、コミカルなミュージカル映画「シカゴ」、一人の教師の生き様を描いた「いまを生きる」だが、最近では、ラジオ番組を担当するにあたり、早いペースで作品を見ている。豪快でコメディが笑いを呼ぶ「ブルースブラザーズ」や、ダスティン・ホフマンの女装演技が見事な「トッツィー」、ロバート・デニロの終盤の一人劇が王巻の「キングオブコメディ」、人生全てがショー化されたという大掛かりな演出劇の「トゥルーマン・ショー」、ロビン・ウィリアムスがカリスマラジオDJを演じた「グッド

モーニング・ベトナム」、少女と詐欺師の奇妙な友情をしつとり描いた「ペーパー・ムーン」など琴線に触れた名作は限らない。

映画は「人生の肥やし」となる。体験は多いに越したことはないが、人間の行動には限界があり「行けない場所」「できない経験」が数多い。私は時に経験の無さにおける「欠落感」を感じることもある。しかし、映画作品はそれを埋めてくれる一助になる。映画から「決定的な人生観」を得たことも少なくない。

日本人が台湾を理解するに「台湾に行く」のが一番だろうが、時間が許さない方も多いだろう。そういう方々は「映画」を観賞されてはどうだろうか。日本でも「アジア映画祭」や「台湾映画祭」など数多くの良質な映画フェスティバルが開催され、新旧の作品がラインナップされる。もちろん、映画は虚構も多く「真実」でない部分もあるが、それも一つの「切り口」として観賞すれば、日本人の「台湾」に対する理解も深まるのではないだろうか。

Matsu (阿松) プロフィール

台湾で活躍する日本人テレビ司会者。台湾で放送されている番組内でMCを務める。本島の東西南北/金門/馬祖/蘭嶼/綠島/小琉球等を食べ歩き、番組内で「台湾の食の風景」を伝えている。同シリーズはアメリカ、カナダ、中国、日本など世界でも幅広く撮影を行う。

『これぞ本場の台湾ライフ』(22)

作家 亜洲奈みづほ

「母国語で語りあえたら…私の直接的語学学習」

留学&取材生活中、通学のMRTの車内には、駅名のアナウンスが、まるで歌うように流れているのを、よく聞いた。台湾国語の他に、元来の台湾語、客家(はっか)語、英語と、4種類もの発音で案内されるのだ。

前三者は、同じ漢字表記でも、もちろん発音が異なる。台湾語は、中国大陸の福建省を源とするもの。客家語は、大陸南部に点々と分布するエスニック・グループの言葉だ。特に台湾では、国民党政府の国語教育を受ける以前の世代は、今でも方言の方を得意としており、植民地時代に、いたっては、日本語も流暢であるようだ。それらすべてを聞きわける人も少なくない。私の片想いの台湾もまた、台湾生まれで3種類を自在に操る。台湾人の語学能力の高さは、その国際的な地位によるものなのだろうか。屋台のあんちゃんや片言の日本語を、市場のおばちゃんすらも、なぜか流暢な英語を話すのだ。

それにしても異言語のコミュニケーションは、生身の勝負である。基本的なやりとりは、気を取られるぶん、言葉を取りつたり、含みのある表現の裏を読むような暇はない。些細な心のあやや、すれちがいに悩む以前の問題なのである。そのせいか、感情もシンプルに、愛情表現も直接的になるのかもしれない。そこに外国人に対する思いやりが加わり、よりいっそう、やさしくな

るひともいる。ハードルが高ければ高いほどに、情熱も湧きあがることもある。おそらくは基本的に異なる畑(はた)を前提としているからだろう、「同じであるはずがない」からスタートすれば、わかりあえた喜びもまた、ひとしおなのだ。末端の多少の違いも、受け流してしまう。時には、人間的なすれ違いを、異文化という違いに帰して、無理やり納得することも。

それとも結局は、相手ごとこの国の者なのか、いつのまにか忘れさせるほど、混じりあってしまうものなのだろうか。そう信じたかった。しかし、すでに彼氏のカノジョにあたるアメリカ女性との異文化生活を経験した彼は、下手な幻想を抱くことはない。そもそも男女は異なる生物である。そしてまた人間は究極として、生まれるときと死ぬときは、独りきりなのだ。国際恋愛というものは、これら信じる者に適しているのかもしれない。——あのひとは、悟っているのだろうか——

「だからそんなに無理しないで。気がつか



MRTの車内には、中国語・台湾語・客家語・英語の4種類のアナウンスが流れる

わなくていいんだから」とせつなくエスコートしてくれた彼氏を押しとどめ、メンツをつぶしがちな私に向かって、どは涼やかなまなざしを返した。「汝は魚にあらず」「?」

故事を知らない私に、彼氏は、かみくくように教えさす。あるとき荘子は、その友が池を見おろし、涼しげに泳ぎ舞う魚を、うらやむ様子を前にして、つぶやきました……

「魚のきもちがどうしてわかる?」

目の前の彼氏は、意味ありげに微笑むばかりであった。やはり外国語のコミュニケーションは、はてしない。

九州限定通訳案内士の育成を開始



研修会場

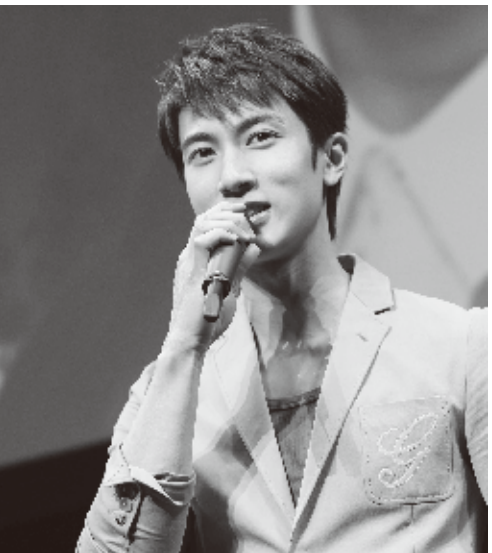
九州7県と福岡市は、政府から「九州アジア観光アイランド総合特区」の認定を受け、試験を簡素化した九州限定通訳案内士の育成を開始した。対象言語は中国語などで、在福岡台湾人受講生も参加した。福岡県から始まった研修、初日は会場となった吉塚合同庁舎に福岡県・小川洋県知事も訪れ「福岡県への観光客もどんどん増え、アジアから九州への観光客も過去最高に達している。こうした状況の中、向こう10年を観光業を基幹産業として設定した。観光客が増える中で『ガイドの不足』という問題が深刻化しており、よ

り多くの人が最終試験を突破し、九州の案内役としての役割を担って欲しい」と激励した。

日本人受講生が約半分を占めたが、台湾人を含む海外からの受講生も多く出席した。『台湾人ガイド』が誕生すれば、増加傾向の台湾人観光客にとっても利便性が高まる。受講生は対象となる言語や救急救命、マナー、ホスピタリティ、九州観光の概要を学ぶほか、模擬バスツアーなど計約60時間の研修を行い、そのうえで、口述試験を受験。口述試験に合格すれば、福岡県知事の登録を受け、九州域内で有償で外国語を用いた通訳案内を行うことができる。

実地研修の舞台は、博多港国際ターミナルや大宰府天満宮、キャナルシティ博多、櫛田神社、阿蘇山など。中国語や韓国語を用い、本番ながらガイドの役割を分担して実務練習に励む。研修は福岡県以外でも開始され、一期目の「特区ガイド」が誕生する。九州内のみならず、台湾をはじめとするアジア各国からも注目が集まる。

呉尊(ウズン)がファンミーティングでフリフリダンス披露



俳優として活躍中のウズン【写真提供:ASC】

元飛輪海のメンバーで現在は俳優として活躍中の呉尊(ウズン)は4月13日、東京・品川エプソンのアークスタジアムのステラボールで「CHUN ZONE FANMEETING 2014」を行った。公演は昼公演と夜公演の2部制。会場は満席だった。来場客の9割が女性ファンで占められたが年齢は様々。なかには小さな子供連れもいた。今年は屋内だけでなく屋外でもファンミーティングをしたいというウズンの希望で、前日はファンクラブ達とよみうりランドツアーをしたという。

舞台上で登場したウズンは簡単な日本



ウズンは持ち前のユーモアで会場を盛り上げた【写真提供:ASC】

語の挨拶で会場を盛り上げた。ファンミーティングは、ウズンが持参した写真を見ながらクイズに答える「ウズンライフQ&A」コーナーや「チェック!ウズンの靴の中身は?」コーナー、万歩計を振って歩数を競う「万歩計でフリフリダンシング」コーナー、「ハイタッチコーナー」など盛りだくさんの内容で日本のファンと交流した。



ファンと記念撮影をするウズン【写真提供:ASC】

台湾人向けに福岡発行のフリーペーパー「繁体字版」の発行を検討

福岡の外国人居住者や観光客にとって欠かせない情報源となっているフリーペーパー「FUKUOKA NOW」の編集長・ニックサーズ氏が、台湾人向けの「繁体字版」の発行を検討していることを明らかにした。同フリーペーパーは発行15周年。カナダ出身のサーズ氏が「福岡に暮らす外国人のニーズを満たす情報を伝える媒体がない」と、1998年に無料冊子とし

て、福岡の魅力やふんだんに盛り込んだ情報発信を始めた。約15ページのカラフルな冊子は、福岡市内の駅やホテル、観光施設を中心に九州各地の400カ所近くで毎月1万5千部を配布。その他、ウェブサイトの運営や、イベント企画も実施し、福岡のみならず九州域で「身近」な情報誌として親しまれ、また、5年前から福岡市街地の「英語版」の地図を作成し好評を得ている。特に交

流が活発化している「台湾」を意識しての「繁体字版」の検討は、さらに「アジアの玄関口・福岡」の情報誌としての役割を強めそうだ。「外国人のシェフやクリエイターとたくさんコラボレーションしたい。数年前から台湾から若い人が遊びにきているので、そういう人達に有益な情報を発信していきたい」と今後の展開について話した。

東京・ソウル・台北の絵画を一堂に

「東京・ソウル・台北・長春一官展にみる—それぞれの近代美術」展が5/14(水)~6/8(日)に府中市美術館にて開催される。この展覧会はソウル、台北、長春でも開かれ優れた画家の登竜門である。4つの展覧会を紹介

する企画は日本初であり、アジア初となる。審査員には黒田清輝、安井曾太郎、梅原龍三郎など。出品者には全国各地の巨匠が名を連ねる。関連企画としては日本人、台湾人、韓国人講師による美術に関する内容の講演

会や、歌手・女優としてだけでなく木版画家としても活躍中のジュディオングさんミニトークショーなども開催予定だ。(台湾新聞社 公式Facebookにて同展のチケット抽選企画実施中~5/10まで)

台湾就職希望者のための説明会が福岡開催

台湾貿易センター(TAITRA)は5月30日(金)、台湾での就職を希望する人を対象にした説明会を福岡アジアビジネスセンターで開催する(主催/經濟部投資事業處)。参加費は無料(要事前申込)。台湾で

の就職を希望する「職務経験者」の日本人や、台湾人留学生が対象となる。説明会では「台湾経済の最新情報」「人材募集に至る流れ」「台湾企業求人情報」「求人サイトの案内」などが解説される。「台湾とグロー

バル人材」と題してのゲストスピーカーによる講演も行われる予定で、台湾就職を希望する人材にとって収穫の多い内容となりそうだ。



Time for Taiwan

思い立ったが台湾吉日

今年の夏は台湾に行こう

今、日本人に大人気の観光地「台湾」。実は日本から一番近いリゾート地でもあります。あなたも台湾の海(海浴い)で楽しい夏を過ごしてみませんか?
今回は中でもオススメの海スポットを6つピックアップしてご紹介。

~台湾の夏 おすすめポイント~

- 1 台湾の夏は長い!4月から9月頃まで夏を満喫できます!
- 2 フルーツが美味しい!マンゴー、ライチ、パイナップル...とにかく甘い!
- 3 かき氷のお店がいたるところに!しかも安い!
- 4 タクシーが安い!(初乗り約¥250)暑くて疲れてもタクシーに乗れば楽々!
- 5 植物が南国/ヤシの木やハイビスカス...見ているだけでリゾート気分!



福隆



福隆サンドアートフェス

2008年から行われている福隆のサンドアートフェスティバル。黄金色のビーチに世界各国の達人たちの手によって作られた壮大でバラエティにとんだ彫刻が並び、日本人アーティストの出展もある。今年の開催期間は5月3日~6月30日。

蜜月湾



サーフィン

蜜月湾はサーファーがこぞって訪れる有名なサーフスポット。「ハネムーンベイ」という名でも知られ、その名の通り美しい入り江となっている。また、近くの大溪漁港では水揚げしたばかりの魚が量り売りされ、新鮮なシーフードが味わえる海鮮レストランもある。

台東



海浴いサイクリング

台東の海浜公園には海浴いに整備されたサイクリングロードがあり、綺麗な海を眺めながらサイクリングを楽しむ事が出来る。海浜公園付近にはレンタサイクル店もある。

澎湖



ダブルハート

これは澎湖の漁民が築いた伝統的な魚捕りの仕掛け。2つのハートがびったり重なっているように見える事から「愛情が永遠に続く」と言われカップルに大人気のスポットになっている。

ビーチで海水浴&マリンスポーツ

墾丁は、リゾートホテルや民宿が多くあり、プライベートビーチ感覚で楽しめるホテルも多く賑やかなリゾート地。南湾や大湾など多彩なビーチポイントがあり、マリンスポーツやダイビングなども楽しめる。4月には大規模な音楽フェスなども行われた。

墾丁



ダイビング&海底温泉(朝日温泉)

緑島にはダイビングポイントがたくさん。美しい珊瑚礁や色とりどりのかわいい熱帯魚を見ることが出来る。または、世界的にも珍しい海底温泉(朝日温泉)があり、波の音を聞きながら温泉浴を楽しめる。

緑島



台日同名32駅と同名さん大募集!

~台湾で駅長体験付き・台湾旅行ご招待~

- 応募期間 2014/3/11~8/20消印有効
- 台湾旅行期間 2014年11月中の3泊4日間(出発日は調整中)

応募に関する情報はこちらをチェック→<http://www.go-taiwan.net/>

楽しい、元気な「台湾」や「日本」をご紹介ください! 「日台観光フォトコンテスト」

“おすすめの台湾 おすすめの日本”
期間:2014年1月14日~12月26日

<http://www.nihao-konnichiwa.com/photo/>
カメラを片手に旅しながら、とっておきのステキな台湾や日本をご紹介ください。
主催:台湾観光協会、(公社)日本観光振興協会、(一社)日本旅行業協会
協賛:ANA(全日本空輸)、チャイナエアライン、エバー航空、JAL(日本航空)、トランスアジア航空



2014年 4月29日 スタート!

LINE

